

正式名称	凸版印刷㈱安全道場（写真-1）
場所とアクセス	川口市弥平 4-7-1 JR 川口駅から路線バス 30 分
展示および体感内容	1. 体感設備 「安全」、「衛生」、「防火」の3つのコーナーに以下の体験設備がある。これらの設備は、HH（ヒヤリハット）事例、労災事故例、設備のトラブル例から関係者で議論し、設置したとのこと。道場と名付けたのは、人の道を修行することにつながっていること、道場破りを歓迎、術を磨く場という考え方から道場としたとのこと。 「安全」 ローラー巻き込まれ、Vベルト/チェーン巻き込まれ プレス挟まれ、ボール盤巻き込まれ、残圧挟まれ体感 チャッキング挟まれ、階段転倒、ヒューマンエラー体験装置 センサー体感、インターロック、切れ。こすれ、落下・衝撃 「衛生」 心肺停止・AED 体感、腰痛防止、耳栓チェッカー・マスク フィットテスター、臭気体感、手洗い評価体感 「防火」 静電気帯電、剥離帯電、流動帯電、アース 「防火・防災」 失敗の現物展示 引火、タコ足配線、トラッキング、摩擦発熱、 2. そのほか ①会社として奨める事業所や研究所で使用する保護具関連 グッズ、災害発生時グッズの展示コーナー ②基本的な工具の正しい使い方 コーナー ③V ベルトの適正張力の見える化のコーナー ④VR を活用した教育の試行（フォークリフトの運転手向け） ⑤パネル 1) 安全道場開設のトップの言葉 2) 安全衛生法の抜粋 3) 災害のメカニズムとその防止策 ハインリッヒの法則、4 M（Man, Machine、 Material, Method, Media, Management 他



写真-1 (道場入り口看板)

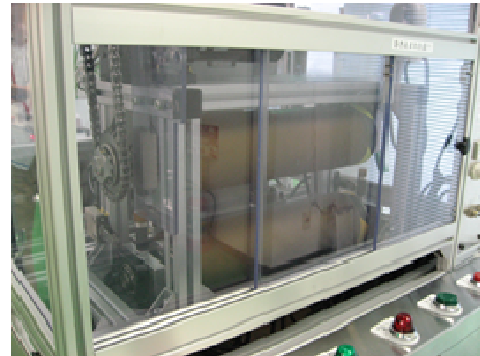


写真-2 (ローラー挟まれ体感)



写真-3 (V ベルト・チェーン巻き込まれ体感)



写真-4 (同左割り箸による体感)



写真 - 5 (チャッキング・エアシリンダー残圧挟み込まれ体感)

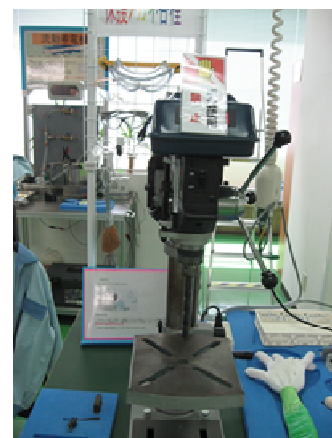


写真 - 6 (ボール盤巻き込まれ体感)



写真 - 7 (ヒューマンエラー体感)



写真 - 8 (階段転倒体感)

ここがお勧め！

- ① 階段転倒：事務系を含め全社員に必須の体感施設で、「階段での転倒防止 10 か条」を掲げ、転倒防止に努めている点
- ② VR の試行例では、スマートフォンを活用し無線タイプで VR を実現しており、今後 適用分野の拡大が期待できる。
- ③ 自社で開発したカッター災害防止用の「安全定規」、指差し呼称徹底のための「指差し呼称訓練器」、特に後者は類似品が市販化されており、個々の体験施設、グッズには同社の安全関係のノウハウが随所に織り込まれている点。
- ④ 「インターロック」のコーナーの 8 種類の安全確保の機構の展示と説明は、リスクアセスメントを実施する際の参考にもなり、ユニークなコーナーと感じた。

感想など

- ① 2010 年 9 月に安全担当の役員の発意で設置された。大きな事故が起きていない状態で創設された点から会社の安全活動への熱意を感じていたが、2013 年に見学させて頂いた時に比べ、メニューが見直され、一層充実していることに改めて会社の安全活動への熱意を感じた。

	② 現在は、在京の工場及び技術者の研修の場として活用。 2014～2015 年に関西滝野工場、九州福岡工場にも安全道場を開場した。 それ以外のトッパングループ企業を含め、全国の工場（北海道から熊本）には、同じ安全体験内容を 3 セット用意し、キャラバン隊が安全体験教育を実施中とのこと。 ③ 体制 定年退職した現場育ちの管理職 OB が道場の“師範“として新任の管理者、監督者、オペレーターに教育。工場では、師範から教育を受けた準師範が安全担当者として教育を担当し、工場の安全を守る。
公開状況	社員教育用であるが、2014 年から社外の研修も受け入れている（5000 円/人）トップの方針：安全には国境はなしに基づく。
URL、運営主体、問い合わせ先	トッパングループ安全道場師範 048-225-5364
ここもお勧め！	鋳物の街 川口市
見学記録作成者名と日付	中田邦臣 2017 年 8 月 9 日 記